

# 地域住民主体の防災まちづくり

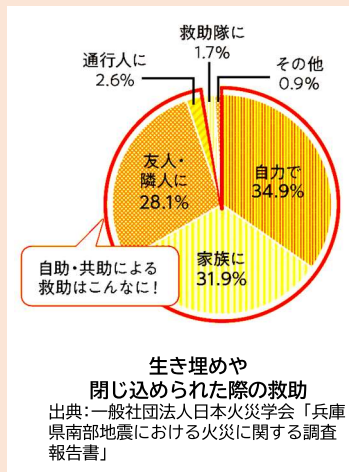
川崎市まちづくり局  
防災まちづくり推進課



防災まちづくりとは、災害に強いまちを目指すことであり、個人・地域コミュニティ・公的機関の各々が防災に取り組み連携することが必要不可欠です。

しかし、大規模災害が発生した際、特に発生直後において、公的機関が担う公助には限界があります。被害を抑えるためには、**平時から「自助・共助により地域防災力を高める」＝「地域住民主体の防災まちづくり」**に取り組むことが重要です。

本紙では、防災まちづくり推進課が行っている防災まちづくり支援などについて、ご紹介します。



## 防災まちづくり支援

平成21年度川崎市地震被害想定調査において、地震発生時の死亡原因の95%は建物倒壊と火災が占めており、中でも火災については、延焼の危険性が高い地区が市内に偏在しています。

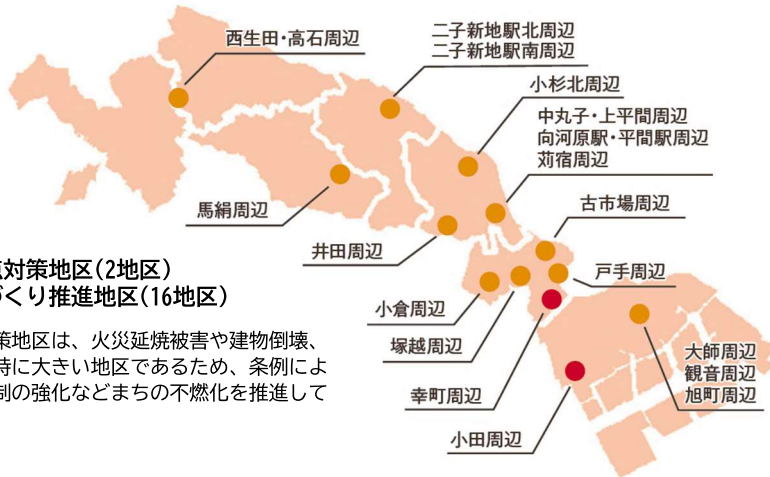
防災まちづくり推進課では、大規模災害（主に火災）による被害を抑制するため、火災延焼の危険性が高い地区にある町内会を対象に、地域の防災力を高める防災まちづくりの活動を支援しています。

支援内容

地域住民主体の防災まちづくりに向けた地域における防災に関する、課題の発見、活動の企画及び実施のお手伝い  
1つの町会に対して3年間の支援を実施

対象

防災まちづくり推進地区（16地区）にある町内会・自治会



## 防災まちづくり事例集

防災まちづくり支援により、地域の方々が主体的に実施した防災の取組を『防災まちづくり事例集』で紹介しています。

防災まちづくりはどの地域にも必要な取組です。事例集は区役所での配架や市ホームページへの掲載を行っていますので、地域での防災活動のきっかけづくりや地域防災力の向上にぜひご活用ください。

市ホームページからは町会のイベントで使えるチラシや防災アンケート等のひな型のデータがダウンロードできます。



▲電子版



川崎市 防災まちづくり事例集  
で検索！

### ■ 事例集の構成 4つのテーマ別に構成しています

#### 地域や一人ひとりが備える



一人ひとりが防災意識を高め、備蓄などしっかり対策していくことで災害に強いまちづくりにつながります。

- ・防災用品の共同購入
- ・マイタイムライン など

#### 地域の課題や資源を確認する



まずは地域の課題や資源を知ることが大切です。防災の視点で地域を見て、地域にあった活動の検討につなげましょう。

- ・防災まち歩き
- ・防災倉庫の棚卸 など

#### 災害対応の体制を整える



誰が何をどのようにするのか、平時から決めておくことで、いざという時に正確に行動できます。

- ・安否確認訓練
- ・災害時ボランティア など

#### 地域の中で連携する



地域の団体や施設などと普段の活動の中で連携することによって、災害時も助け合える関係につながります。

- ・町会イベント×防災活動
- ・イベント型防災訓練 など

## 防災まちづくりカフェ

地域住民主体の防災まちづくりを市全域に広めることを目的に、地域の防災活動に取り組む方々が交流する場『防災まちづくりカフェ』を開催しています。

参加された多くの方から、「自分の地域の活動の参考になった」というお声をいただいています。今後も開催する予定ですので、ご参加お待ちしております。

### ■ 令和7年度防災まちづくりカフェの実施内容

- 第1部 防災まちづくり活動の紹介  
楽しく学べる防災訓練 防災フェア（上平間第一町内会）  
LINEを使った地域の情報共有（小杉陣屋町一丁目町会）
- 第2部 交流会  
3つのテーマに関する地域の防災活動について意見交換



▲当日の様子



川崎市 防災まちづくりカフェ  
で検索！